

# 経済界

Special Interview

渡辺朱美・レノボ・ジャパン社長  
「2年後には国内シェア30%達成を」

平成24年10月16日発行・発売  
(隔週火曜日発行・発売)  
第47巻第21号(通巻978号)  
昭和45年9月3日第3種郵便物認可  
定価600円

2012 No.978

10.30

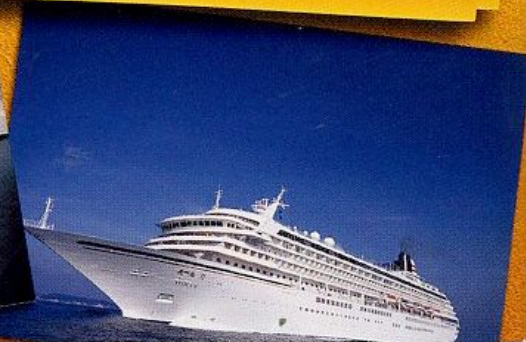
## 「アクティブシニア 市場を攻略せよ」



伊藤勝康・リゾートトラスト社長  
「アクティブシニアの  
急増は最大の追い風」

News Report

イー・アクセス買収で見た  
孫正義・ソフトバンク社長の危機感





いに店を構え、広域からのスー  
ツ需要はもろろん、産業構造な  
どの地域特性により、スーツを  
あまり着用しないビジネススタ  
イルやシニア層のカジュアルへ  
のニーズの高さなども強く意識  
した品揃えに努めるようだ。

今後同社は東北では未進出の  
山形・秋田への出店にも弾みを  
つける模様だ。

## ジーニア&アーレイ

### 除菌・消臭剤「ファス ター・バスター」がグ ッドデザインを受賞

つい先だって「鳥取市観光大  
使」を拝命した、LED・化学系  
研究開発ベンチャー、ジーニア  
&アーレイの畑宏芳氏だが、何  
と今度は、あの「グッドデザイン  
賞」を勝ち取った。

同社が開発を進めてきた新方  
式の除菌・消臭スプレー「ファス  
ター・バスター」がそれ。現在主  
流の次亜塩素酸ナトリウム(さ  
らし粉)を主成分としたものと



「ファスター・バスター」

は一線を画し、トリハロメタン  
を生成しない「二酸化塩素」を主  
成分にしたことが特長。同社は  
「幅広いユーザーが日常的に、い  
ざという時にだれでも簡単・安  
全に使用できる製品」というコ  
ンセプトにこだわり開発を進め  
てきたが、今回は「長期保存性に  
優れ、品質劣化を防げ、使いやす  
く分かりやすいデザイン」とい  
う機能面とデザイン性が実現さ  
れている点が高く評価された。  
「二酸化塩素を使った除菌剤は  
世界の主流になりつつあります」  
と喜びを隠せない畑氏。  
ちなみに表彰式が11月22日、  
翌23日には受賞発表展「グッド  
デザインエキシビジョン201  
2」がいずれも東京ビッグサイ  
トで開催される。

## ITカーズ

### ガソリン車を水素燃 料走行可能にする機 能変換キットを開発

エコカー市場に一石を投じる  
試みとなるか。ITカーズは、ガ  
ソリン車を「ガソリン混合水素  
エンジン自動車」に変身させる  
コンバージョンキットを開発し  
た。同キットは高圧水素タンク  
やマネージメントシステムとい  
った関連パーツで構成され、通  
常の走行時は水素を使い、加速  
時には自動でガソリンを混合し  
た燃料で走る仕組みとなる。

開発のベース車両に選んだの  
はスズキの「ワゴンR」。環境事



コンバージョンキット(写真左  
上)は軽自動車にも搭載可能

業部技術部長の今井作一郎氏  
は「当然、大型車にも組み込め  
るがシステムをコンパクトにで  
きることを証明するためにあえ  
て軽自動車で造った」と言う。

水素とガソリンによるトータ  
ルの航続距離は約500キロ  
で、水素のみでも150キロの  
走行が可能。水素を使い切つて  
もガソリン走行に切り替えられ  
るため、水素補充インフラが街  
中になくても心配はない。燃料  
切れに対する安心感は、1回充  
電当たりの航続距離が短い電気  
自動車に対して大きなアドバン  
テージとなる。水素関連パーツ  
はすべて燃料電池車と共通で、  
安全性も問題はないという。

システムの取り付けは現段階  
では高価だが、燃料電池車が普  
及し、関連コストが数十万円の  
レベルにまで下がれば普及が拡  
大すると今井氏はみている。  
「自動車メーカー主導のこれま  
でのエコカーとは違った角度か  
ら切り込んでいきます」と、同氏  
は語る。